

隣接医学

講 師	大 中 茉 莉	実施時期 単 位 数	第 3 学年前期 2 単位 (30 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	日常の歯科診療の中で、様々な全身疾患を持つ患者をはじめ高齢者、妊産婦、障害を持った患者等へ専門知識に基づく対応ができる歯科衛生士を育成する。				
授 業 概 要	全身疾患と口腔領域の関連を理解するために、歯科診療に隣接した基礎的医学知識を教授する。これにより、多様化する歯科医療に対し、口腔領域のみならず医科診療と連携したより高度な医療のできる歯科衛生士を育成する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	定期試験(筆記試験80%)、小テスト、出席状況(20%)の総合評価				
教 科 書	橋本賢二・増本一真編著 歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック 医歯薬出版				
履修上の注意	様々な疾患に罹患している患者さんを見る上で必要な基礎的医学知識を習得する科目です。臨床に必要な知識を多く含むため、予習・復習をして授業に臨み、口腔領域の疾患と全身疾患を総合的に理解してもらいたい。				
参 考 書	水野嘉夫 著 内科学エッセンス「歯科臨床医のための内科学」 一世出版 白井洗 著 「歯科医の内科学」 医歯薬出版 深谷昌彦 他著 「図解歯科診療と患者のからだ」 医歯薬出版 など適宜紹介				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1 2	歯科の立場からみた隣接医学. 総論	全身疾患、生活習慣病について総論的な理解を深める。
3 4	さまざまな疾患と歯科治療における 注意点① (循環器系疾患)	心疾患・不整脈、高血圧・低血圧等の疾患に対する理解を深める。
5 6	さまざまな疾患と歯科治療における 注意点② (呼吸器系疾患)	肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、結核、睡眠時無呼吸症候群等の疾患に対する理解を深める
7 8	さまざまな疾患と歯科治療における 注意点③ (内分泌系および消化器系疾患,感染症)	糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺疾患、胃・十二指腸、肝臓等の疾患、感染症に対する理解を深める。
9 10	さまざまな疾患と歯科治療における 注意点④ (悪性腫瘍,神経疾患、精神疾患,その他)	がん、脳血管障害、てんかん、認知症、パーキンソン病、ALS、心身症、神経症、うつ病、統合失調症、発達障害等の疾患に対する理解を深める。
11 12	歯科治療時に注意を要する薬の知識	様々な種類の多様化する内服薬についての理解を深める。
13	各種モニターとバイタルサインのとり方	各種モニター、バイタルサインのとり方を理解する。
14 15	急変時の対応	急変時に落ち着いて対応するために必要な基礎知識を理解する。